

市 郡 名	完全給食	補食給食	その他の給食	計
喜多方市		7	1	8
白河市	4	1	2	7
平川市	7	3	(1)	10(1)
勿来市	4(1)	2		6(1)
常磐市	1	2		3
磐城市内相馬町	5	3		8
原町市		2		2
	3	3(2)	1(4)	7(6)
	2	5(5)		7(5)
信夫郡	1	3		4
伊達郡	2	5	3	10
安積郡	1	4		5
岩瀬郡	6	5(2)	1	12(2)
		1	2	3
南会津郡	1	8(2)	1	10(3)
北会津郡		7(3)		7(3)
耶麻郡		8(2)	3	11(3)
両沼郡		11(2)	1	12(2)
西白河郡	1	4	8	13
東白川郡		2	2	4
石川郡	2	5	1	8
田村郡	8	13	5(2)	26(2)
双葉郡	2	10(1)	(1)	12(2)
相馬郡	10(2)	6	1	17(2)
	1	6	1(1)	8(1)
計	92(3)	143(21)	40(9)	275(33)

備考 () は中学校

6 社会体育

青少年スポーツ活動指導者講習会

○趣旨

青少年の生活を健全にし豊かにするうえでスポーツ活動の果す役割は極めて重要である。今回は特に冬季戸外スポーツ（スキー）についての理論と実技の両面にわたって研修の機会を与え、その資質の向上をはかるため本講習会を開催した。

○主催 福島県教育委員会事務局

○期日 昭和35年 1月14日～18日まで

○場所 耶麻郡猪苗代町積慶寮

実技 県営猪苗代スキー場

○参加範囲

- 1, 市町村教育委員会関係職員並びに体育指導委員
- 2, 学校教職員
- 3, スキー連盟登録会員

○講師 日本スキー連盟理事 坂田 時人

同 水上 久

福島県教育委員会事務局保健体育係長 鈴木善兵衛

○講習内容

- 1, 冬季スポーツ指導上の諸問題について
- 2, 実技

○日程（別紙）

○参加者数

体育振興委員 2名
 体育指導委員 40名
 教員 10名
 その他 8名
 計 60名

モデル・キャンプ地の開設

○開設の趣旨

近年青少年の間にキャンプ活動が盛んになってきた反面、商業キャンプ地が多くキャンプ本来の目的を逸脱したようなことが見聞される。

そこで青少年に教育キャンプ活動を奨励するためモデルとなるキャンプ地を設け自主的に野外活動を実施しようとする青少年のグループに、これを利用させ、これら青少年のキャンプ活動にたいし県派遣の講師が指導・助言し野外活動の正常な発展をはかるため、この事業を実施した。

○主催

福島県教育委員会事務局
 開催地教育委員会事務局

○開設の場所・期間

昭和34年 7月23日～ 8月10日まで

耶麻郡猪苗代町磐梯山麓キャンプ場

○方法

(1) 参加者指導者（リーダー）の引率する中学校以上の学生・生徒ならびに勤労青少年（青年団・青年学級・職場青年グループなど）で 1集団10名以上とした。

(2) 貸与する物品（すべて無料）

テント（シート付家型 5, 6人用）毛布, シャベル, バケツ, その他（救急用品）

(3) 物品の借用および返還

キャンプ地到着とともに県指導者より必要数を受けとり使用方法について指導を受け使用後は県指導者の検査を受けて返還する。物品を損傷した場合はこれを弁償しなければならない。

(4) 最大収容人員（1日） 150名

(5) 指導講師

福島県教育委員会事務局保健体育係長 鈴木善兵衛

〃 保健体育課主事 高崎 剛

福島県体育指導委員（耶麻郡猪苗代町） 渡部 義健

〃 （福島市） 佐藤 博幸

福島大学学芸学部講師 佐藤 克己

耶麻郡猪苗代町山岳委員 中村 恒男

その他県保健体育課員が随時出張し指導・助言にあたった。

(6) 指導講師の任務

キャンプ地には常に 1～2名の指導者が駐在し、キャンプ地の運営と参加集団の責任者と協力のうえ、キャンプ地の秩序維持ならびに器具・用具の管理に当る外、必要に応じ、参加者に指導助言を与える。